

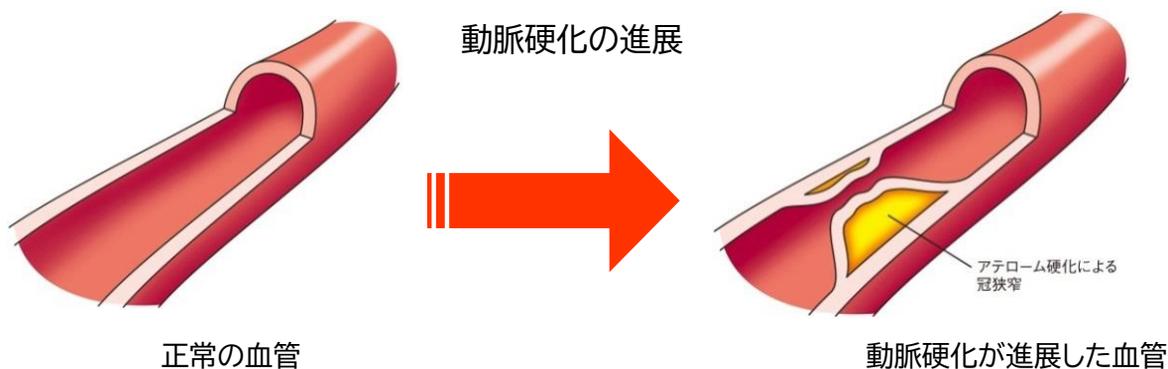
動脈硬化検査のご案内

当院では動脈硬化の検査としてCAVI/ABI検査を行っています。

日本人の死因の代表疾患である「脳疾患」や「心疾患」は、徐々に弾力性が失われ血管壁が肥厚していく動脈硬化が原因のひとつであると考えられています。

CAVI/ABI検査を行うことで、血液が流れるときのポンプの内側の圧力（血圧）の変化をみて、血液を送り出すポンプ機能が十分に働いているか、つまり動脈硬化の状態（血管の硬さ、血管の詰まりの程度）を調べることができます。

動脈硬化は全身のどの動脈でも起こる可能性があり、足も例外ではありません。末梢動脈に動脈硬化が生じると、手足に血行不良が起こり閉塞性動脈硬化症（ASO）を引き起こします。



➤ 動脈硬化の危険因子には下記のようなものがあります。



CAVI/ABI検査の特長

定期的に行うことで、動脈硬化の程度を時系列で評価できます。定期的なフォローアップに有用です。

性別、年齢に合わせた血管の硬さを推定できます。

検査結果

CAVI (キヤビ) 検査結果				測定日: 2025年 1月30日 16:30:34
		年齢: 77 歳	性別: 女	様
		病歴: ミアミ		
身長	159.0 cm	体重	48.0 kg	BMI: 19.0 kg/m ²
心拍	69 (拍/分)			
検査目的	項目	測定値	標準値	検査結果
動脈の硬さの程度 CAVI	右	9.0	~8.9	血管の硬さは70代後半に相当します。
	左	9.0	(9.4±0.9)	血管の硬さは70代後半に相当します。
動脈の詰りの程度 (ABI)	右	1.18	0.91~1.40	正常範囲です。
	左	1.07		正常範囲です。

検査目的	項目	測定値	標準値	検査結果
動脈の硬さの程度 CAVI	右	9.0	~8.9	血管の硬さは70代後半に相当します。
	左	9.0	(9.4±0.9)	血管の硬さは70代後半に相当します。
動脈の詰りの程度 (ABI)	右	1.18	0.91~1.40	正常範囲です。
	左	1.07		正常範囲です。

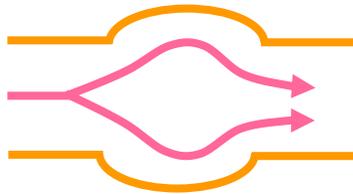
右足首血圧 159/69 (105)	左足首血圧 144/73 (101)	医師の指示に従ってください 次回検査日 年 月 日 コメント
脈圧90	脈圧71	

CAVIとは

CAVI検査は、動脈の硬さを調べる検査で、大動脈を含む心臓から足首までの動脈硬化度を調べます。動脈硬化が進行するほど高い値となります。大動脈の進展性の低下は心疾患の発症や予後を規定する因子となることから知られており、早期診断と管理に役立ちます。

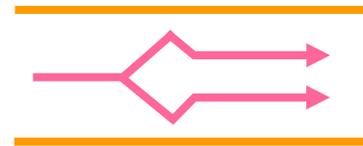
CAVI検査の原理

健常者の場合(低値)



健常者の場合、血管は弾力性があるため、脈波が血管壁で吸収されスピードが遅くなります。

動脈硬化が進展している場合(高値)

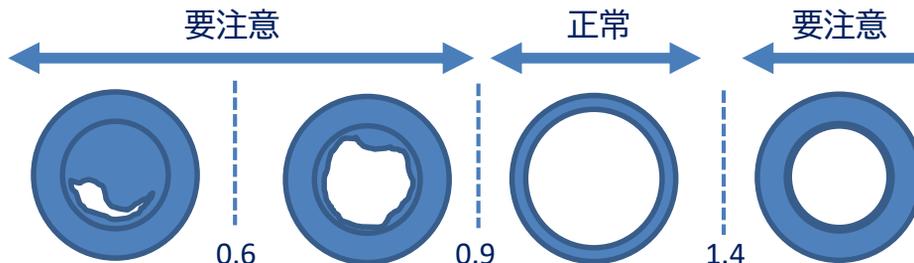


動脈硬化が進展すると、血管は弾力性が硬くなり、脈波が血管壁で吸収されずスピードが速くなります。
高い値

ABIとは

ABI検査(足関節上腕血圧比)は足首と上腕も血圧を測定し、その比率(足首収縮血圧÷上腕収縮血圧)を計算したものです。閉塞性動脈硬化症(ASO)の進行程度、血管の狭窄や閉塞の推定ができます。

ABI検査(足関節/上腕血圧比)



ABI値が低いほど足の動脈の狭窄の可能性が高くなります。
ABI値が高い(1.4以上)の場合、血管の内膜石灰化が疑われます。